

品川区の新型コロナウイルス感染症対策

品川区議会公明党
会派報告

夏
号

新型コロナに負けない!

●発行：品川区議会公明党 幹事長：若林ひろき ●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366

全区民に3万円給付! 中学生以下は5万円



8月4日、区長室で第6回目の申し入れ。

新型コロナウイルス感染症により区民の生活に大きな影響が出ていることから、区議会公明党は、品川区の基金を活用する全区民への一律給付の検討を4月から開始しました。

その後、濱野区長への申し入れなど区と交渉を重ねた結果、品川区は全ての区民を応援するために一律3万円を給付する「しながわ活力応援給付金」を決定しました。加えて長期休校等による在宅生活で家庭に大きな影響が出ている子どもの学習・生活支援のため中学生以下の児童に対して一人2万円を加算して給付します。

【給付対象者】 令和2年4月27日に住民基本台帳に記載されている品川区民

※特例として4月28日から12月31日までに生まれた新生児で、母親または父親が令和2年4月27日現在に品川区に住民登録があり、申請日まで引き続き住民登録がある場合は給付対象になります。申請書は別途世帯主に郵送。

【給付額】 給付対象者1人につき3万円。中学生以下(平成17年4月2日以降に生まれた方)には、一人につき2万円を加算して5万円。

【申請方法】 郵送のみ。申請および受給は世帯主が行う。

【スケジュール】 ●8月5日(水)から申請書発送 ●8月中旬以降、順次給付開始
●11月10日(火)申請期限

【問合せ】 コールセンター ☎0570-02-5670(土日祝を除く午前9時～午後5時まで)

チャットボット で問合せできます!

申請書に記載している「問い合わせ番号」を入力すると振込済など申請状況を確認できるチャットボットを公開。 [詳しくはこちら](#) ➡



品川PCR検査センター開設!



新型コロナウイルス感染症が拡大しているなか、地域の検査体制を確立するため、品川区は5月12日(火)に品川区PCR検査センターを開設しました。区医師会の協力のもと、かかりつけ医の判断で、PCR検査が必要とされた方をPCR検査センターに紹介・予約して検査を実施するものです。区議会公明党は、区内にPCR検査体制を構築するよう、濱野区長に度重ねて要望してきたもので、区内の感染拡大防止に役立つものと考えます。

【設置場所】 品川区役所庁舎

【実施日】 週4日

【対象者】 原則として品川区民
(単身赴任等の区内居住者を含む)

【問合せ】 ☎03-5742-9153 品川区保健所 保健予防課

PCR検査実績表

令和2年7月31日現在

該当月	検査人数	陽性者数	陽性率
5月	101人	0人	0.0%
6月	226人	4人	1.8%
7月	568人	44人	7.7%

介護・障がい福祉業務継続支援金

介護・障がい福祉サービスは、緊急事態宣言中も業務継続が必要です。区議会公明党は、感染防止対策を講じながら、業務継続に尽力される方々に支援金の支給を要望しました。

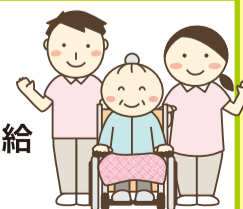
区は、新型コロナウイルス感染症のリスクと向き合いながら、業務に尽力される介護・障がい福祉サービス従事者の皆様に感謝し、ご苦勞をねぎらうため支援金を給付します。

【支給予算額】 1億7千8百万円

【支給方法】 各事業所・施設の従事者数に応じて金額を算定し、法人・事業者ごとに支給

【問合せ】 介護サービス ☎03-5742-6728

障がい福祉サービス ☎03-5742-6707



第2回定例会 会派一般質問から

～新型コロナウイルス感染症対策～

医療・保健体制の強化

Q 新型コロナウイルス感染症の陽性患者を受け入れた区内医療機関への経済的支援と、区内ホテルの協力を得て医療従事者の宿泊制度の準備を求める。

A 受け入れた区内3か所の医療機関について今後支援を検討していく。

Q 第2波への備えとして医療・保健の体制強化等について聞く。

A 保健所は、今後も職員の専門性を向上させ、必要に応じ応援職員を配置する等、確実に対応していく。

生活・経済への支援

Q 公明党が提案・実現した「しながわ活力応援給付金」の速やかな申請・給付等を求める。

A 8月5日から申請、同月中旬に給付開始予定であり、手続きの簡素化など申請の負担軽減を図っていく。

Q 国の「家賃支援給付金」制度に上乗せする区独自の家賃助成制度の創設を求める。

A 国や都等の動向を注視しつつ調査研究していく。

防災・減災対策について

Q 区民避難所における新型コロナウイルス感染防止対策のために、ホテルや旅館等を活用した避難先を確保すべき。

A 協定締結しているホテル・旅館組合には31施設が加盟。出来る限り避難先を確保するため協定先の拡充に努める。

新たな生活様式における オンライン学習環境の早急な整備

Q 保護者らにGIGAスクール構想・ICT教育の取り組み方針を明示し、並行して「今ある環境」を最大限に活用した整備を求める。

A 取り組み方針を発信すると共に環境の整わない家庭にはタブレット等端末の貸与により対応していく。

熱中症対策

Q 例年以上の対策として、予防の注意喚起とともに、区民が具体的に取る熱中症対策の促進策を検討すべき。

A 区民の皆さんの経済的負担が少なく取組やすい予防促進策について検討する。

～障がい者支援について～

Q ヘルプカードを収納でき、バッグに装着できるヘルプマークを施したストラップ式のカードケースの作製を提案。

A 障がい者団体のご意見を伺い、利便性の高いカードとなるよう作製する。

公明党の要望から実現したその他の主な感染症対策

区議会公明党は、濱野区長に対して新型コロナウイルス感染症対策の要望を2月17日、3月23日、4月23日、5月26日、7月29日、8月4日の6回に亘り実施しました。

区内共通商品券発行

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける区内経済を支えるため、プレミアム率30%の区内共通商品券を総額8億円発行

オンライン教育の推進

今年度中にオンライン教育のための環境を整備

- ・学習用タブレット端末24,000台確保
- ・通信環境などの基盤整備
- ・インターネット通信料を補助



就学援助費拡充

休校により給食が提供されなくなった就学援助世帯の家計負担を軽減するため、昼食費として1日500円を支給

感染拡大防止物品購入支援

医療機関(医師、歯科医師、薬剤師)や介護・障がい児者・子ども支援施設が必要とするマスク、アルコール消毒液、防護服等の感染拡大防止物品の購入費用を補助

新型コロナ対策支援寄付金募集

区民などの寄附を受け入れるファンド(受け皿)を用意し、医療・介護・障がい児者・保育への支援に活用する仕組みを構築

区政に関する意見交換会を実施

7月14日(火)から、区内の各種団体と区政に関する意見交換や要望をお聞きする懇談会を実施しました。今年度は文書でご意見・ご要望を伺うようにするなど新型コロナウイルス感染症の感染防止に注意しながらの実施となりました。各種団体からお聞きしたご意見・ご要望は、議会質問や予算要望等を通じてよりよい区政へと活かしてまいります。



公明党の区議会議員



若林 ひろき



たけうち 忍



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org